

令和4年度 薬局ビジョン実現に向けた薬剤師の
かかりつけ機能強化事業【第2期】「事業2」

薬物療法を受けている小児患者に対し、高い専門性
に基づく特殊な調剤や薬学的管理を実施し、入退院
時及び在宅医療等において地域の医療機関等と薬
学管理情報の共有を効果的に行うための取組

報告書

令和5年4月

公益社団法人 福岡県薬剤師会

目次

【内容】

1	背景	3
2	目的	3
3	事業の内容	4
4	事業の成果と課題	5

【資料】

資料1	: アンケート内容	20
資料2	: 医療的ケア児等協力薬局リスト	21
資料3	: 対応可能薬局配布ステッカー	22

1 背景

一般に、小児は理解力や行動が発達段階にあるため大人よりも服薬が困難であり、また味覚も敏感である等から、小児の薬物治療においては服薬しやすくするための製剤的な工夫や服薬指導上の工夫等が必要となるほか、小児の特性を踏まえた医師や多職種との情報連携も必要となる。

また、近年、医療的ケアを必要とする小児患者（以下、医療的ケア児）が増加している。医療的ケア児への調剤においては、経口や経管での服薬のためにハイリスク薬の粉碎や脱カプセルを伴う調剤を行うなどの剤形の工夫や特殊な調剤技術を要するほか、小児の家族に対するきめ細やかな服薬指導や、家族が児に円滑に服薬させるための工夫など、家族をサポートする観点からの支援も必要となる。

平成 30 年に「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律（略称：成育基本法）」が成立し、同法に基づき策定された「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」が令和 3 年 2 月 9 日に閣議決定された。同方針においては、「小児医療等における専門的な薬学管理に対応するため、医療機関・薬局の医療従事者間の連携を推進すること」とされており、小児医療における薬学管理の専門性の向上、医療機関と薬局の連携体制の充実が必要である。

2 目的

多くの薬剤を必要とすることが多い患児の状況を踏まえたより丁寧な薬学的管理や、在宅での服薬アドヒアランスの確保などに関する薬剤師の専門性の向上を目的とする。また、患児に関わる他の医療従事者や機関、また患児をサポートする行政や福祉等の関係者、医療的ケア児支援センター等と連携した対応が行える地域体制の構築を行い、地域の小児在宅医療の体制の整備につなげる。

3 事業の内容

(1) 本事業検討経過

- 1) 令和5年1月26日(木) 令和4年度第1回地域医療連携ワーキング
・令和4年度「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業【第2期】」の実施について

- 2) 令和5年2月7日(火) 令和4年度第5回地域医療連携委員会
・令和4年度「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業【第2期】」における小児在宅医療研修会(令和5年2月20日開催)について
・保険薬局における小児在宅医療に関するアンケート調査の実施について

(2) 事業の実施

① 小児在宅医療研修会の開催(Web研修)

日時：令和5年2月20日(月) 19:25 ~ 21:05

場所：Web配信(福岡県薬剤師会 講堂)

対象：薬剤師

受講者：245名

内容：医療的ケア児の現状と薬学管理について ~成育基本法・医療的ケア児支援法の成立をふまえて~ (90分)

公益社団法人日本薬剤師会 理事 川名 三知代

② 保険薬局における小児在宅医療に関するアンケート調査

調査日：令和5年2月20日(月)小児在宅医療研修会終了後
~ 2月25日(土)

調査対象：小児在宅医療研修会受講者及び福岡県薬剤師会会員薬局と薬剤師

調査方法：研修会参加者には、研修会後に回答フォームへ回答依頼。

薬局及び薬剤師には、アンケート調査協力依頼文書で案内し、文書内のURLより回答フォームへ回答を依頼。

③ 医療的ケア児等協力薬局リストの作成

④ 医療的ケア児等協力薬局である旨を広く患者や住民に周知するためのステッカー作成と配布

4 事業の成果と課題

① 小児在宅医療研修会の開催（Web 研修）

受講者：245 名

② 保険薬局における小児在宅医療に関するアンケート調査

令和3年度に実施した同様のアンケート調査と比較した。

■ アンケート基本情報

	令和3年度	令和4年度
調査期間	令和3年9月13日～ 令和3年10月26日	令和5年2月20日～ 令和5年2月25日
回答数	415 薬局	369 薬局
保険薬局数	2,437 薬局	2,426 薬局
回収率	17%	15.2%

(1) 所属地区薬剤師会

	令和3年度	令和4年度
福岡市薬剤師会	138	90
宗像薬剤師会	11	19
粕屋薬剤師会	11	6
筑紫薬剤師会	40	20
糸島薬剤師会	19	9
朝倉薬剤師会	5	12
久留米三井薬剤師会	72	35
八女筑後薬剤師会	6	9
浮羽薬剤師会	3	3
柳川山門薬剤師会	2	6
大川三潁薬剤師会	3	3
大牟田薬剤師会	8	15
遠賀・中間薬剤師会	5	14
若松薬剤師会	1	5
八幡薬剤師会	23	36
戸畑薬剤師会	4	5
小倉薬剤師会	31	35

門司薬剤師会	3	5
京都薬剤師会	3	9
豊前築上薬剤師会	0	2
飯塚薬剤師会	20	6
直方鞍手薬剤師会	3	10
田川薬剤師会	2	11
非会員	2	4
合計	415	369

(2) 薬局の従業員数

・常勤薬剤師

	令和3年度	令和4年度
合計人数	907	852
平均	2.2	2.3
中央値	2	2

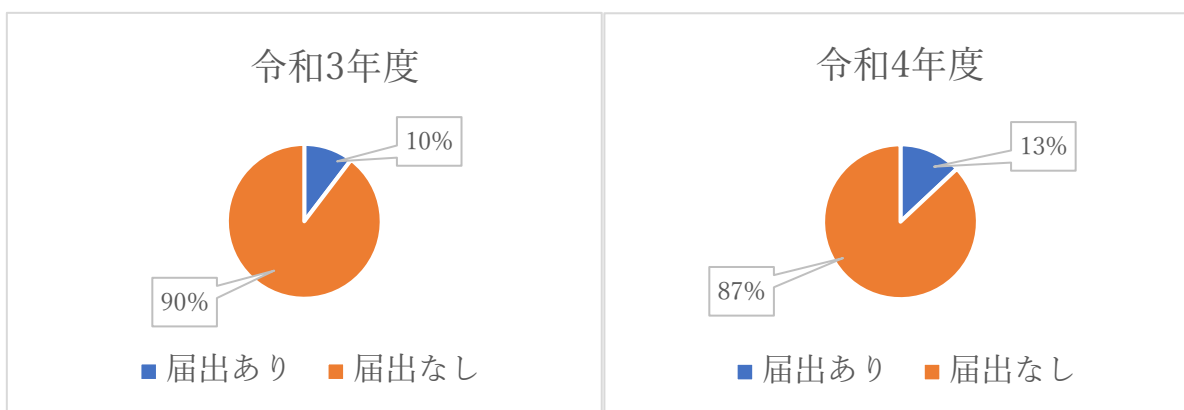
・非常勤薬剤師

	令和3年度	令和4年度
合計人数	632.35	590
平均	1.5	1.6
中央値	1	1

■施設基準届出状況について

(1) 無菌製剤処理の届出はありますか。

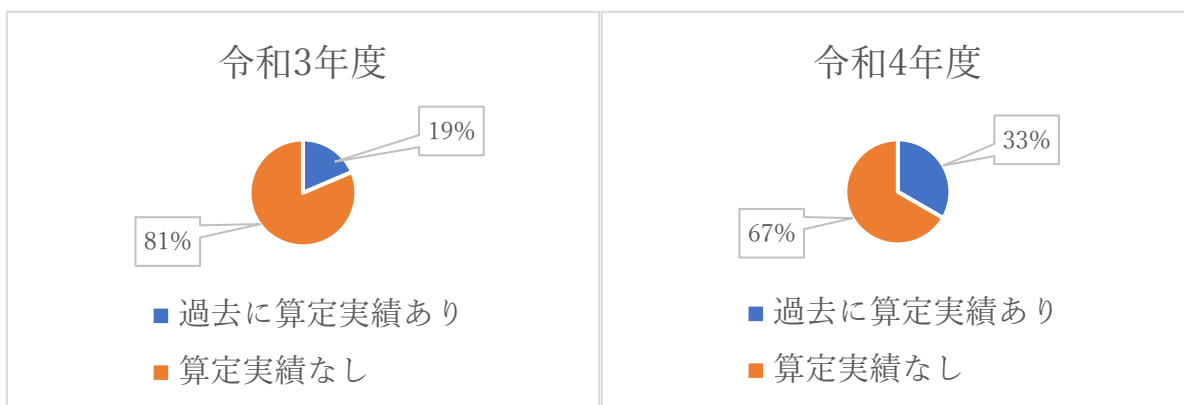
	令和3年度	令和4年度
届出あり	43	48
届出なし	372	321
合計	415 薬局	369 薬局



・(1)で「届出あり」と回答された方に設問です。

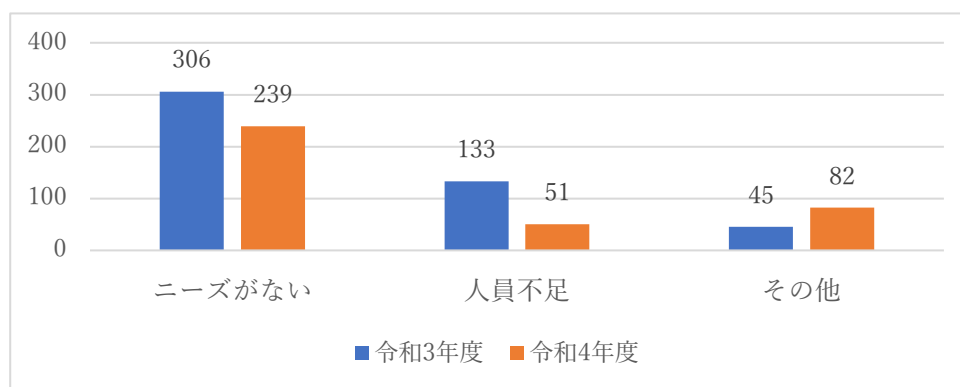
直近3か月間に無菌製剤処理加算を算定した実績はありますか。

	令和3年度	令和4年度
3か月期間内の算定実績あり	4	9
過去に算定実績あり	4	7
算定実績なし	35	32
合計	43 薬局	48 薬局



- ・（１）で「届出なし」と回答された方に設問です。
その理由にあてはまるものに○を付けてください。〈複数回答可〉

	令和3年度	令和4年度
ニーズがない	306	239
人員不足	133	51
その他	45	82
合計	484	372

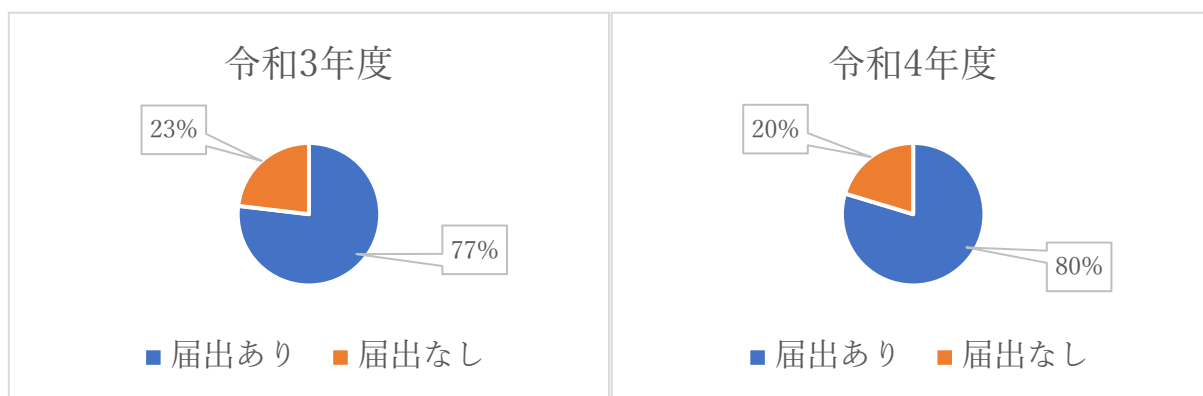


その他の理由 〈令和4年度〉

- ・設備が不十分。
- ・設備投資費用がない。
- ・設備投資するだけの需要が見込めない。
- ・調剤室内のスペースなどの問題。
- ・当薬局にスペースがないので、ニーズに応じて他薬局の設備を借りる予定。
- ・グループ店舗にはあるので使用はできるが、今のところニーズがないため。
- ・現在準備中。

(2) 在宅患者訪問薬剤管理指導の届出はありますか。

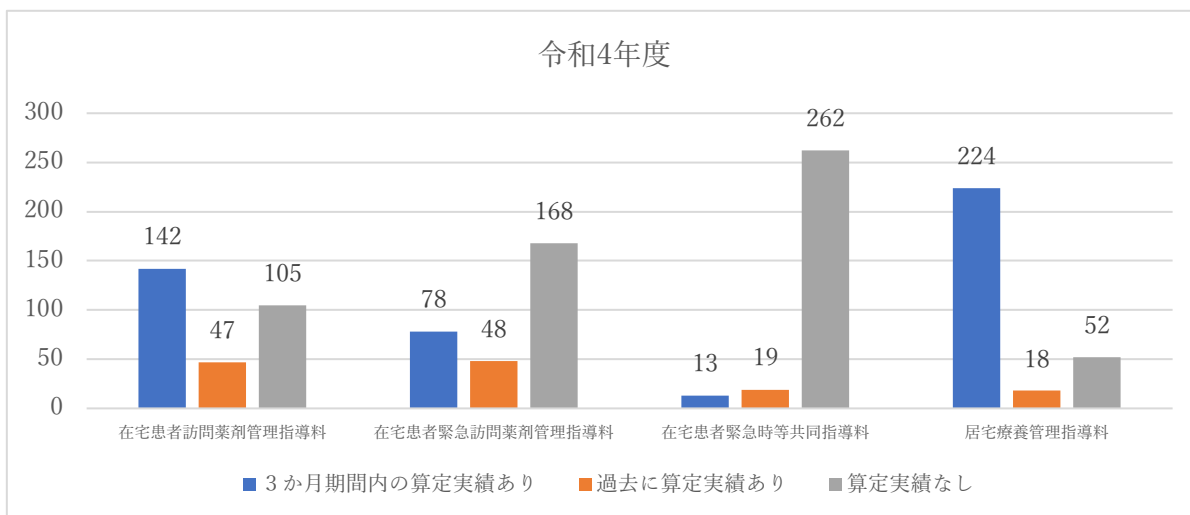
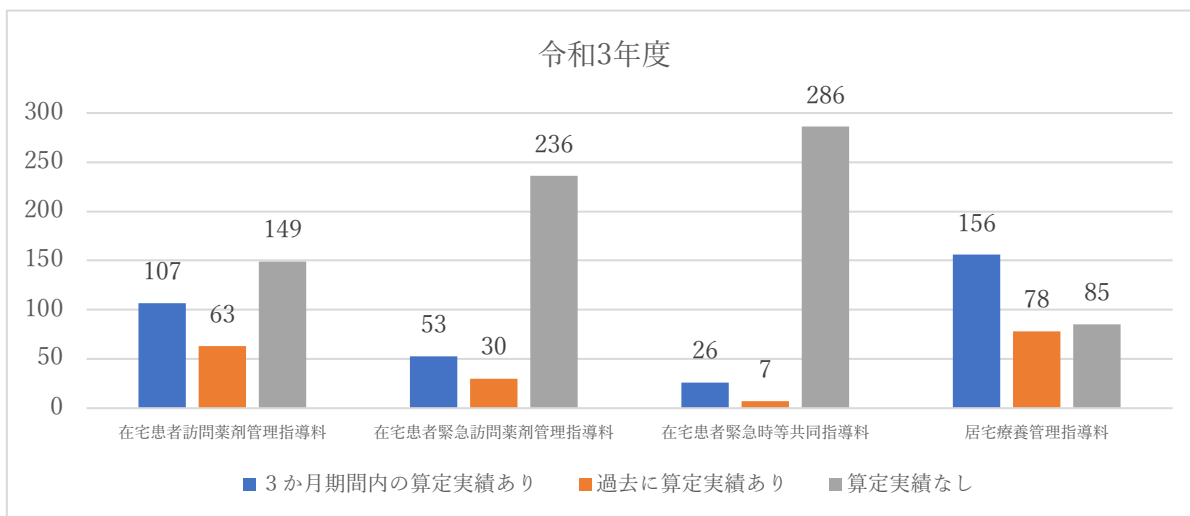
	令和3年度	令和4年度
届出あり	319	294
届出なし	96	75
合計	415	369



・(2)で「届出あり」と回答された方に設問です。

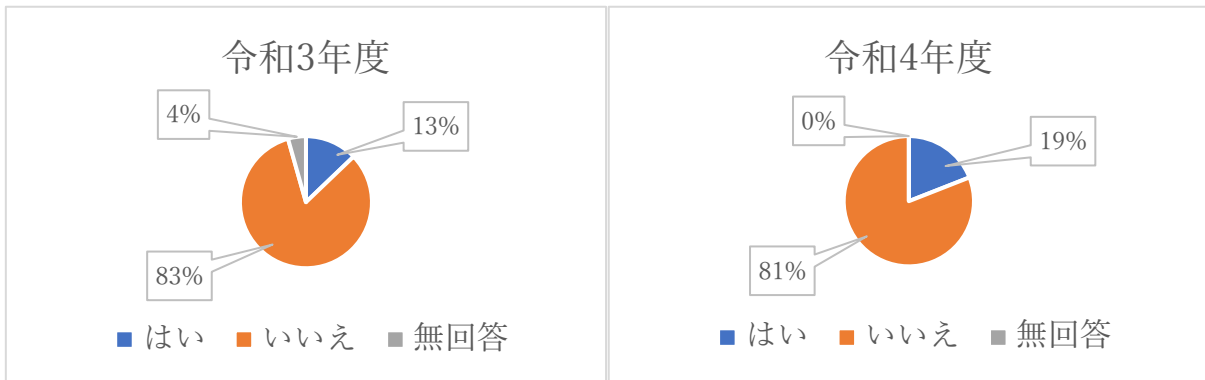
直近3か月間について算定実績のある項目全てにチェックをしてください。

	3か月期間内の 算定実績 あり		過去に 算定実績 あり		算定実績 なし	
	令和3年度 (i)	令和4年度 (ii)	(i)	(ii)	(i)	(ii)
在宅患者訪問 薬剤管理指導料	107	142	63	47	149	105
在宅患者緊急訪問 薬剤管理指導料	53	78	30	48	236	168
在宅患者緊急時等 共同指導料	26	13	7	19	286	262
居宅療養管理指導料 (介護保険)	156	224	78	18	85	52



そのうち、20歳未満の患者への上記いずれかの算定実績はありますか。

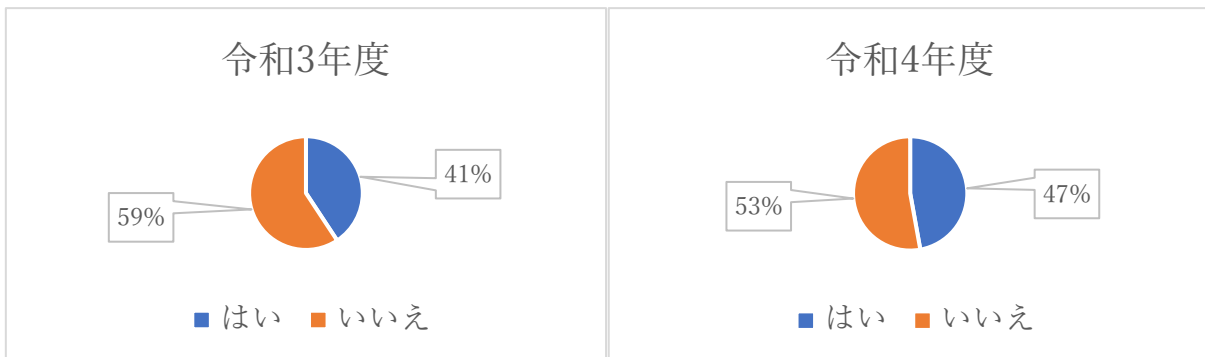
	令和3年度	令和4年度
はい	41	56
いいえ	264	238
無回答	14	0
合計	319	294



■ 特定保険医療材料について

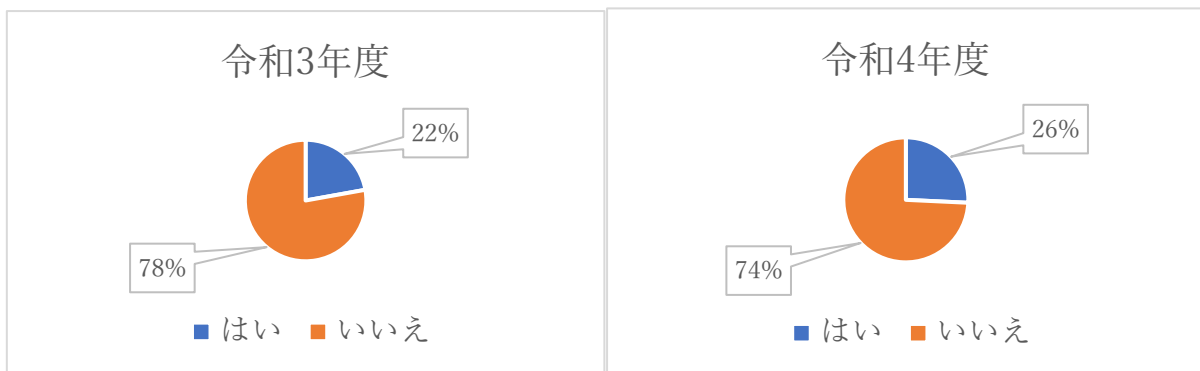
(1) 特定保険医療材料の提供体制（仕入れ業者の提携、在庫確保後の管理体制等）は整っていますか。

	令和3年度	令和4年度
はい	169	174
いいえ	246	195
合計	415	369



(2) 特定保険医療材料の提供実績はありますか。

	令和3年度	令和4年度
はい	92	95
いいえ	323	274
合計	415	369



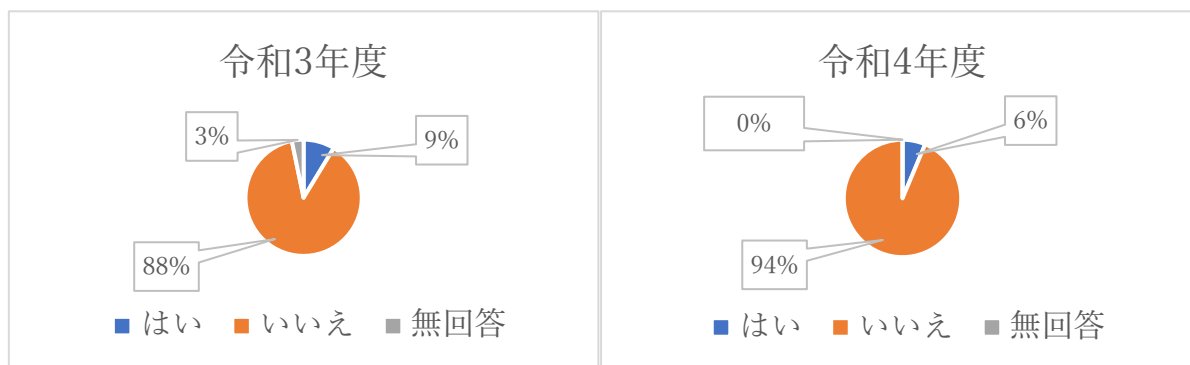
- ・ (2) で「はい」と回答された方に設問です。
直近3か月間について提供実績のある項目全てにチェックをしてください。

	3か月期間内の 提供実績 あり		過去に 提供実績 あり		提供実績 なし	
	令和3年度 (i)	令和4年度 (ii)	(i)	(ii)	(i)	(ii)
インスリンホルモン 製剤等注射用 ディスポ注射器	21	25	10	12	61	58
万年筆型 注入器用注射針	56	53	17	9	19	33
腹膜透析液 交換セット	9	3	7	10	76	82
ダイアライザー、 吸着型血液浄化器	2	0	0	2	90	93

在宅中心静脈栄養用 輸液セット	5	3	4	13	83	79
気管切開後留置用 チューブ	2	2	1	3	89	90
膀胱留置用 ディスポカテーテル	3	4	4	2	85	89
栄養用 ディスポカテーテル	2	5	5	13	85	77
水循環回路セット	2	0	0	1	90	94

そのうち、20歳未満の患者への上記いずれかの算定実績はありますか。

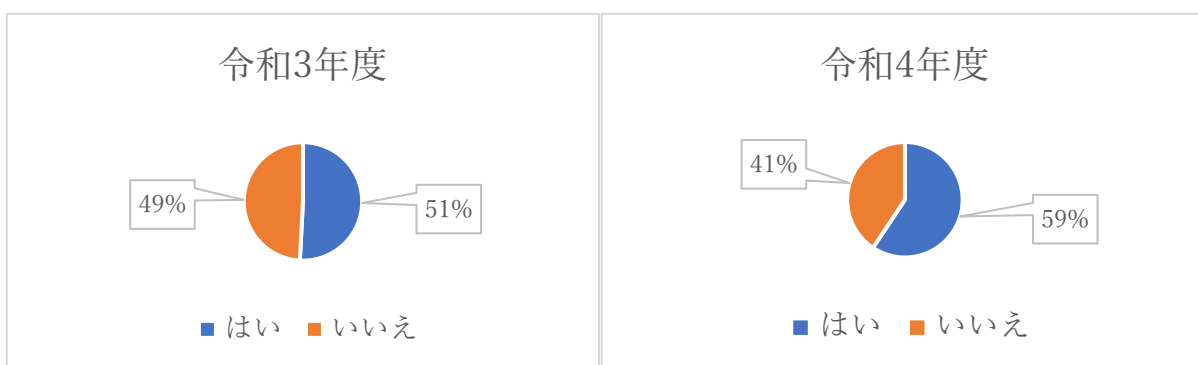
	令和3年度	令和4年度
はい	8	6
いいえ	81	89
無回答	3	0
合計	92	95



■医療材料・衛生材料の提供について

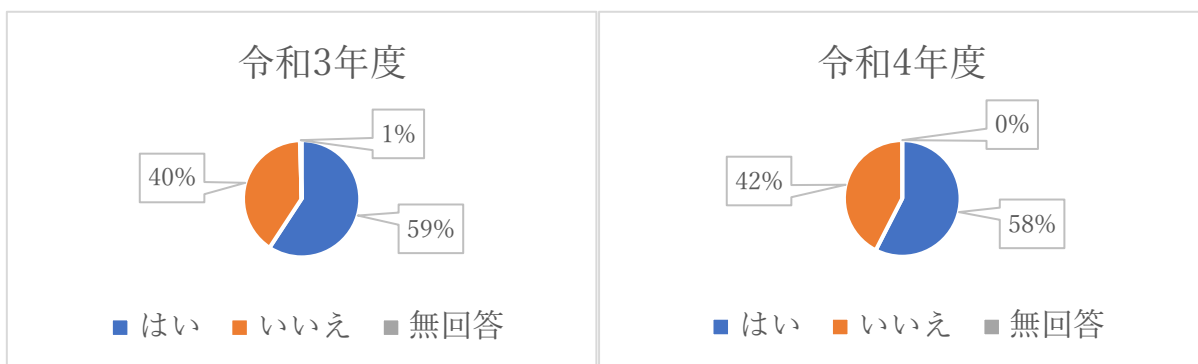
(1) 医療材料・衛生材料の提供体制（仕入れ業者の提携、在庫確保後の管理体制等）は整っていますか。

	令和3年度	令和4年度
はい	211	219
いいえ	204	150
合計	415	369



(2) 医療材料・衛生材料の提供実績はありますか。

	令和3年度	令和4年度
はい	125	126
いいえ	85	93
無回答	1	0
合計	211	219



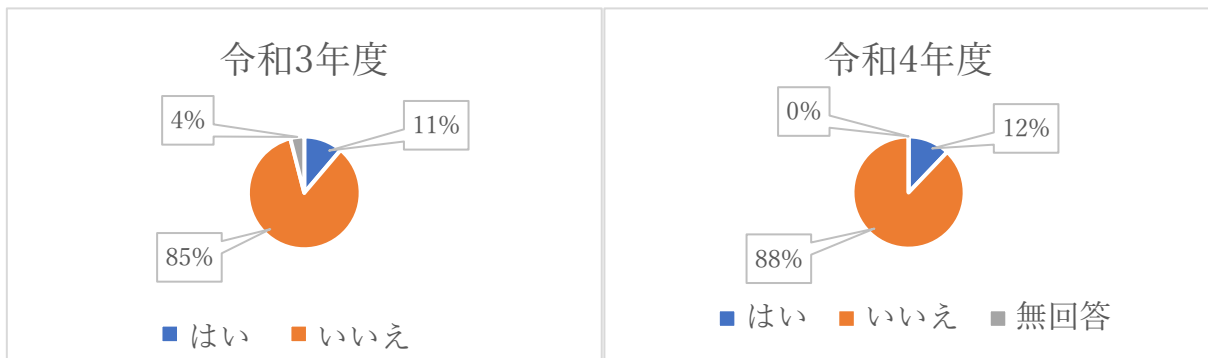
- ・ (2) で「はい」と回答された方に設問です。

直近3か月間について提供実績のある項目全てにチェックをしてください。

	3か月期間内の 提供実績 あり		過去に 提供実績 あり		提供実績 なし	
	令和3年度 (i)	令和4年度 (ii)	(i)	(ii)	(i)	(ii)
医療脱脂綿 (脱脂綿、綿球、 カット綿等)	24	39	36	38	65	55
医療ガーゼ (滅菌、未滅菌、 Yカット等)	29	51	36	38	60	43
ピンセット	3	2	8	12	114	118
滅菌済手袋・ 未滅菌手袋	1	10	9	16	115	106
創傷被覆・保護剤・ ドレッシング材等	13	28	34	45	78	59
注射針・注射筒	39	44	19	36	67	52
穿刺針・穿刺器具	22	21	22	23	81	88
その他の注射器具 及び穿刺器具	6	8	6	14	113	110
チューブ及び カテーテル類	8	9	12	15	105	108
カテーテルチップ シリンジ	6	5	5	11	114	116
アルコール綿	26	38	42	48	57	46

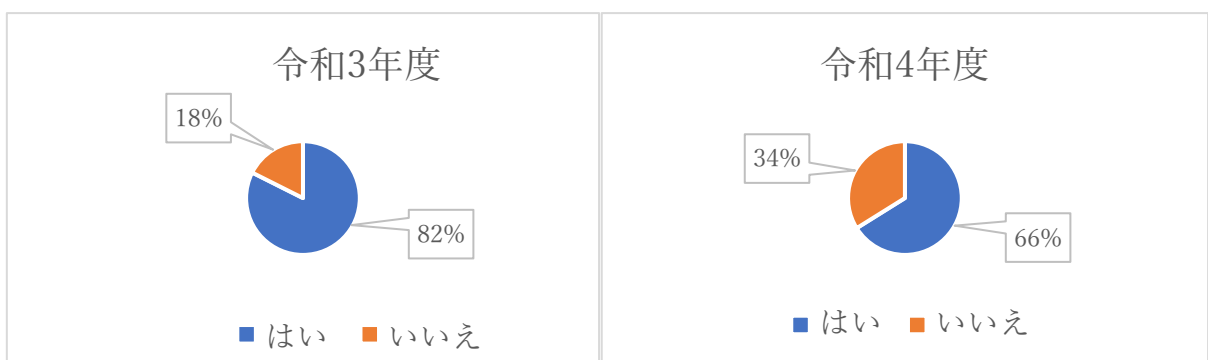
そのうち、20歳未満の患者への上記いずれかの算定実績はありますか。

	令和3年度	令和4年度
はい	14	16
いいえ	106	116
無回答	5	0
合計	125	132



(3) 地域の在宅医療における医療材料・衛生材料の供給拠点の役割を保険薬局が担う事が出来るとお考えになりますか。

	令和3年度	令和4年度
はい	342	244
いいえ	73	125
合計	415	369



上記の回答について、その理由をご記入ください。

〈はいの理由〉

- ・医療材料や衛生材料の基本的な製品知識を持った上で、患者のケアに直接関わる家族や医療スタッフと情報共有を図っていれば、医薬品とほぼ同じ物流ルートで対応できる。
- ・品物の仕入れは問題ないため、あとは需要のある品物や薬局での在庫状況を地域で共有し、病院や訪看との綿密な打ち合わせがあれば可能だと思う。
- ・病院に比べて患者や家族にとっては薬局の方が足を運びやすいと思う。
- ・納入金額が高いことや、包装単位での在庫効率が悪いなど問題はあるが、卸の分割などを利用して対応したい。
- ・薬局で在庫管理、保管のスペース、期限切れの廃棄などの問題はあるが、他薬局との連携で家の近隣薬局でのフォローが出来たらよい。
- ・会営薬局が最低限備蓄しており、供給体制を構築している。
- ・サプライチェーンとして薬局が果たすべき責務だから。
- ・地域貢献のためにも前向きに考え取り組んでいきたい。
- ・今後は薬局も医薬品だけに限らず、医療材料などの供給に関しても積極的に関わっていくことが地域医療に携わる立場として必要条件だと思う。
- ・薬局は医療提供施設でありながら小売業としての側面も持つ社会インフラであり、薬局と病院を繋ぐ地域医療を推進する一助とするのがよいと考える。

〈いいえの理由〉

- ・人員不足で急な対応ができない。
- ・スペースの問題。
- ・在宅医が処置伝票として請求しているため、あまりニーズがないと思う。
- ・医療機関側が提供すべきだと思います。
- ・患者は大きな病院で買っている。実際に薬局に求められることがほとんど無い。話が来ない。
- ・本心は可能。と考えるし、そうありたいという希望はあるのですが、当薬局の現状として今のところ人手不足で、これ以上の在庫を抱えるとデッドストックになり廃棄が増える。会社経営を考えると厳しいので「いいえ」とさせていただきます。
- ・薬局内全員の理解を得ることが難しいため。

- ・仕入れ業者などと提携したことがない。規格がバラバラで、必要なものを間違いなく供給するのに向いていない。何を準備すれば良いのか分からない。コスト面を考えると難しい。
- ・医療機関により希望する医療材料・衛生材料が異なるため、薬局にて確保する在庫品目が膨大になり、不良在庫になりうるため。地域として医薬品フォーミュラリーと同様に医療材料・衛生材料の統一が図れるのであれば、担うことは可能であると考える。

本年度は、本事業開始前の11月に本会主催の在宅医療に関する研修会において、実際に医療的ケア児の訪問診療を行っている医師に「医療的ケア児の在宅医療において薬剤師に期待すること」をテーマに講演いただき、医療的ケア児に関する知識と薬剤師の役割について理解を深めることができた。次のステップとして本事業を活用し、実際に医療的ケア児の在宅訪問を行っている小児薬物療法認定薬剤師である日本薬剤師会理事の川名三知代先生に「成育基本法・医療的ケア児支援法の成立をふまえた医療的ケア児の現状と薬学管理について」ご講演いただいた。

それぞれの受講者からは、「成育医療に係る協議会等に薬剤師が参画できる仕組みづくり、小児入院医療から外来、在宅に至るまで、医師、病院薬剤師等とかけつけ薬剤師・薬局が連携し、切れ目なく適切な薬物療法が提供できる地域体制の整備が必要だと感じた」や「薬剤師は調剤、スタッフ、他の患者への曝露対策をしながら製材加工を行い、責任を持って安全な薬物療法を提供する必要があり、大変な作業ではあるが、家族の負担を軽減することもできる」といった感想があり、その他にも「医療的ケア児に対する薬学的ケアには患者の体調維持や改善だけでなく、家族の負担を軽減するような福祉の視点も必要である」そして「成育医療の医薬品提供の現状を考え、総合的な視点を持つ薬剤師を育成し、患者や家族を含めた全人的な薬物治療と健康サポートを切れ目なく提供することが薬剤師の目指すところだと実感した」などの感想もいただき好評であったとともに、薬剤師の意識が変化してきていることも確認できた。

そのことはアンケートの結果にも現されており、在宅患者訪問薬剤管理指導の届出を行っている薬局における指導料の算定実績は、342件から457件へとこの1年でさらに増加している。そのうち20歳未満の患者への算定実績がある薬局数も41軒（13%）から56軒（19%）へと増加していたことは、単に小児在宅医療に取り組む薬局数が増加していることだけでなく、その需要も増大していることが背景にあると思われる。

当県では令和3年度より、医療的ケア児を含む成育医療の体制整備における1つの課題が、特定保険医療材料及び衛生材料の提供体制であると小児等在宅医療推進

検討会や在宅医療多職種連携推進のあり方検討会において協議されている。その中で、地域の保険薬局による役割として提供体制の構築と推進が求められるようになった。アンケートの結果では、仕入れ業者との提携や在庫確保後の管理体制などの体制整備を整えている薬局数は微増しているものの、提供実績に関しては横ばいとなっている。「地域の在宅医療における医療材料・衛生材料の供給拠点の役割を保険薬局が担う事が出来るか？」の設問に対して「はい」と回答した薬局の理由には、「薬局で在庫管理、保管のスペース、期限切れの廃棄などの問題はあるが、需要のある品物や薬局での在庫状況を地域で共有しながら積極的に関わっていき、地域医療を支えるサプライチェーンとして薬局が果たすべき責務だと思う」といった前向きな意見もある一方で、「いいえ」と回答した薬局の理由には、「人員不足。スペースがない。ニーズがない。コスト面を考えると経営的に難しい。どのようにして何を準備していいか分からない。」などが挙げられた。これらの背景には、体制整備に関する知識の習得と医療機関や関係職種及び団体への周知が不足していることも要因の1つであると考えられる。

そこで、アンケート調査の最後に「薬物療法を受けている小児患者に対し、在宅訪問および医療材料・衛生材料に対応可能な薬局をリスト化し、医療機関および関係機関へ公表することへの可否」「地域において対応可能薬局である旨を広く患者や住民に周知するために使用するステッカーの受け取りの可否」についての設問で「はい」と返答した薬局に対して、対応可能薬局リストへの掲載とステッカーの配布を実施した。

今後の課題としては、小児在宅医療への参加及び医療材料・衛生材料の提供が困難と考えられる負の要因を1つでも多く解消し、体制整備を拡充していくことである。そのためには、知識習得に関する研修会を開催することや体制整備の構築に関する情報提供を行い、今回作成した「医療的ケア児等協力薬局リスト」を活用しながら多職種への周知も並行して実施していくことが必要だと考えている。具体的には、福岡県小児等在宅医療推進検討会や各種研修会を通じて、患児に関わる他の医療従事者や機関、また患児をサポートする行政や福祉等の関係者、医療的ケア児支援センター等と積極的に連携し、今後も顔の見える関係性を構築していきたい。

資料1 アンケート内容

保険薬局における小児在宅医療に関するアンケート調査

前年度にも同様のアンケートを実施させていただきましたが、医療的ケア児を含む小児在宅医療への意識の変化について調査することで、今後の研修内容の検討事項として参考にさせていただきます。また、小児等在宅医療において、診療所での医療材料・衛生材料の供給が課題となっており、患者家族や多職種からの購入依頼も増加してきています。そこで、改めて保険薬局における医療材料、衛生材料の提供の実態や課題等に関するアンケート調査を実施し、現状と課題を把握することで今後の地域包括ケアシステム推進に向けての一助となればと考えております。

アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

I. 貴薬局についてお尋ねします。

1. 薬局名： _____
2. 郵便番号： _____ (半角 ハイフンを含む) 例：123-4567
3. 住所： _____
4. 所属地区薬剤師会：〇〇〇薬剤師会
5. 薬局の従業者数（常勤薬剤師）を実人数でご記入ください。
6. 薬局の従業者数（非常勤薬剤師）を実人数でご記入ください。
7. 薬剤師区分について教えてください
 - 01 管理者
 - 02 その他薬剤師

II. 届出状況についてお尋ねします。

1. 無菌製剤処理の届出はありますか。
 - 01 届出あり
 - 02 届出なし
2. 1「届出あり」と回答された方に設問です。
直近3か月間に無菌製剤処理加算を算定した実績はありますか。
 - 01 3か月期間内の算定実績あり
 - 02 過去に算定実績あり
 - 03 算定実績なし
3. 1で「届出なし」と回答された方に設問です。
その理由にあてはまるものに○を付けてください。(複数回答可)
 - 01 ニーズがない
 - 02 人員不足
 - 03 その他 ()
4. 在宅患者訪問薬剤管理指導の届出はありますか。
 - 01 届出あり
 - 02 届出なし
5. 4で「届出あり」と回答された方に設問です。
直近3か月間について算定実績のある項目全てにチェックをしてください。

	3か月期間内の算定実績あり	過去に算定実績あり	算定実績なし
在宅患者訪問薬剤管理指導料 (医療保険)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料 (医療保険)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
在宅患者緊急時等共同指導料 (医療保険)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
居宅療養管理指導料 (介護保険)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

6. 5のうち、20歳未満の患者への上記いずれかの算定実績はありますか。
01 はい 02 いいえ

III. 特定保険医療材料についてお伺いします。

1. 特定保険医療材料の提供体制（仕入れ業者の提携、在庫確保後の管理体制等）は整っていますか。
 - 01 はい
 - 02 いいえ
2. 特定保険医療材料の提供実績はありますか。
 - 01 はい
 - 02 いいえ
3. 2で「はい」と回答された方に設問です。
直近3か月間について提供実績のある項目全てにチェックをしてください。

特定保険医療材料	3か月期間内の提供実績あり	過去に提供実績あり	提供実績なし
インスリンホルモン製剤等注射用 ディスプレイ注射器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
万年筆型注入器用注射針	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
腹膜透析液交換セット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ダイアライザー、吸着型血液浄化器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
在宅中心静脈栄養用輸液セット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
気管切開後留置用チューブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
膀胱留置用ディスプレイカテーテル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
栄養用ディスプレイカテーテル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
水循環回路セット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 3のうち、20歳未満の患者への提供実績はありますか。
01 はい 02 いいえ

IV. 医療材料・衛生材料の提供についてお伺いします。

1. 医療材料・衛生材料の提供体制（仕入れ業者の提携、在庫確保後の管理体制等）は整っていますか。
 - 01 はい
 - 02 いいえ

2. 医療材料・衛生材料の提供実績はありますか。
 - 01 はい
 - 02 いいえ
3. 2で「はい」と回答された方に質問です。直近3か月間で提供実績のある項目全てにチェックをしてください。

医療材料・衛生材料	3ヶ月期間内の提供実績あり	過去に提供実績あり	提供実績なし
医療脱脂綿（脱脂綿、綿球、カット綿等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
医療ガーゼ（滅菌・未滅菌・Yカット等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ピンセット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
滅菌済手袋・未滅菌手袋	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
創傷被覆・保護剤（ドレッシング材等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
注射針・注射筒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
穿刺針・穿刺器具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他の注射器具及び穿刺器具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
チューブ及びカテーテル類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カテーテルチップシリンジ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アルコール綿	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. 3のうち、20歳未満の患者への提供実績はありますか。
 - 01 はい
 - 02 いいえ
5. 地域の在宅医療における医療材料・衛生材料の供給拠点の役割を保険薬局が担う事が出来るとお考えになりますか。
 - 01 はい
 - 02 いいえ
6. 上記の回答について、その理由をご記入ください。

V. リスト作成および公表についてお伺いします。(以下管理者のみ回答)

1. 薬物療法を受けている小児患者に対し、在宅訪問および医療材料・衛生材料に対応可能な薬局をリスト化し、医療機関および関係機関へ公表したいと考えています。薬局名および連絡先等をリストへ記載し、公表してよろしいでしょうか。
 - 01 はい
 - 02 いいえ

2. 1で「はい」と回答された方に質問です。地域においても対応可能薬局である旨を広く患者や住民に周知する際に使用するためのステッカーを作成し、希望薬局へ配布したいと考えています。ステッカーをご希望されますか。
 - 01 はい
 - 02 いいえ
3. このデータを学会発表やホームページ掲載等に個人を特定しない形で活用させていただくことを了承いただけますか。
 - 01 了承する
 - 02 了承しない

アンケートにご協力頂きましてありがとうございます。

資料2 医療的ケア児等協力薬局リスト



公益社団法人
福岡県薬剤師会
Fukuoka Pharmaceutical Association

[サイトマップ](#) | [お問い合わせ](#)

文字サイズ 小 標準 大

[HOME](#) | [福岡県薬剤師会について](#) | [県民の皆様へ](#) | [薬剤師の皆様へ](#) | [薬事情報センター](#) | [会員専用ページ](#)

ホーム>会員（薬剤師）向け>医療的ケア児等協力薬局一覧

会員（薬剤師）向け

- 新型コロナウイルス感染症対策本部
- 薬局における自宅療養等の患者に対する薬剤交付支援事業(令和5年度)
- 健康サポート薬局研修会AB受講申込 令和5年3月26日開催
- 薬剤師向け研修会開催一覧

医療的ケア児等協力薬局一覧

医療的ケア児を含む薬物療法を受けている小児患者に対し、在宅訪問および医療材料・衛生材料に対応可能な薬局の中で、リストに掲載を希望された薬局を地区別に掲載しました。なお、下記に掲載されていなくても薬の管理などでお困りの際には、まずは「かかりつけ薬局」にご相談ください。



- 医療的ケア児等協力薬局一覧（福岡地区）
- 医療的ケア児等協力薬局一覧（筑後地区）
- 医療的ケア児等協力薬局一覧（北九州地区）
- 医療的ケア児等協力薬局一覧（筑豊地区）

[ページの先頭に戻る](#)

[サイトマップ](#) | [お問い合わせ](#) | [SNSアカウント運用ポリシー](#)

公益社団法人 福岡県薬剤師会
〒812-0018 福岡市博多区住吉2丁目20番15号 TEL 092(271)3791 FAX 092(281)4104
Copyright © 2016 Fukuoka Pharmaceutical Association. All rights Reserved.

資料3 対応可能薬局配布ステッカー

